

プログラミングコンテストに向けての取り組みについて

新見市立新見第一中学校

1 目的

新見市・全国プログラミングコンテスト出場を目指して、選択型プロジェクト学習チームごとに、テーマに基づいた独自のプログラムを作成してプレゼンテーションする。

2 テーマ

「〇〇に役立つ Pepper」

選択型プロジェクト学習で調べている内容をもとにして各チームでテーマ設定

3 今後の予定

(1) 授業計画 10月下旬から11月中旬

- プログラミング授業2時間・・・パソコン教室でプログラム作成・実演・修正をする
- 選択型プロジェクト学習2時間・・・教室でプログラミングに必要な事前準備をする

(2) 学級プログラミングコンテスト ※11月中旬から下旬

- 少人数編成A・Bごとに実演をして代表1チームを選出する
→学級ごとに代表2チームが決定

(3) 校内プログラミングコンテスト ※11月27日(月)午後 体育館

- 運営はプログラミング部3年生6名 ※新見市教育委員会応援あり(真壁主査)
- 各学級代表合計24チームが出場
- 体育館ステージ上で、チーム代表者数名がPepperと会話をしながら実演する。
制限時間2分間
- 学校代表3チームを選考する(審査は教員、結果の発表は翌日)

(4) 新見市プログラミングコンテスト ※12月15日(金)午後 新見市役所南庁舎

- 本校からのエントリー・・・授業部門3チーム、部活動部門4チーム
- 11月28日以降、出場チームはコンテストに向けて、プレゼンテーションの準備や練習をする(放課後、土曜日等で)
- 各チーム全員(2~4人)が出場
- 引率(情報教育担当 藤井・白神)
- 各部門1位が全国大会に出場 ※2月11日(日)ソフトバンク汐留本社

ソフトバンクグループ株式会社資料より引用

Pepper 社会貢献プログラム（スクールチャレンジ）コンテストについて

1 日時 2月11日(日) 9:00~17:00

2 場所 ソフトバンクグループ株式会社汐留本社（東京都港区）

3 実施部門

○小学生部門 ○中学生授業部門 ○中学生部活動部門

4 範囲・テーマ

○小中学生 → テーマ「〇〇に役立つ Pepper」 範囲：授業での実施範囲

○部活動 → テーマ「〇〇を笑顔にする Pepper」 範囲：制限なし

5 発表内容・時間

(1) プレゼンテーション 【4分】

(2) プログラム実演 【2分】 ← 本校の校内コンテストはこの部分のみ

(3) プログラミング内容解説【4分】

6 採点項目

(1) 企画内容 【10点】

(2) プログラミング内容 【25点】

(3) プレゼンテーション 【15点】

7 評価基準

項目	評価分野	評価基準
企画	設定した課題の着想・視点	発表者ならではの視点や着想に基づいているか
	課題解決のアプローチ方法	設定した課題をどのように解決するか
プログラミング内容	インタラクティブ性	会話などインタラクティブ性があるプログラムになっているか
	会話・動作の自然さ	会話・動作が自然であるか
	論理性	プログラムが論理的に構成されているか
	効率性	プログラムが効率的に構成されているか
	ボックスの使用方法	正しいボックスの使用方法か
プレゼンテーション	発表時間	規定時間内にデモ・プレゼンが完了するか
	コミュニケーション力・説得力・表情	発表者が明るく明瞭に発声でき、説得力のある発表と質疑応答に明確に回答できるか
	プレゼン資料の仕上がり	イメージや図表、写真などの資料を効果的に使い、分かりやすく構成されているか